

科目名		医用画像読影学			分野・必選別・単位数	専門科目	必修	2単位
担当教員		◎教授 古井 滋 教授 岡本孝英 准教授 太田 樹					授業方法	講義
課程	博士後期	配当年次	1年		配当学期	後期	配当コース	診療放射線コース 医学物理士コース
授業の概要		昨今の放射線科領域で利用される医療機器の開発、改良はめざましい。博士前期課程で「医用画像基礎読影学」を修学しているが、さらに臨床に有用な読影に関する事項についての教育を受けることが求められる。 読影に関する事項についての教育を受けることにより読影学に対応しえるポジショニング、撮影条件、画像処理を学習し医療現場に求められる適正な画像撮影法をも修得する。						
授業の到達目標		①臨床上必要な症例の画像に関して、それぞれのモダリティでの画像を関連づけて、説明ができる。 ②画像の質に関して正しく評価できる。						
授業計画	回数	担当者			行動目標			
	1	太田	樹	准教授	科目の進め方、注意事項に関して説明できる。			
	2	古井	滋	教 授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	3	古井	滋	教 授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	4	古井	滋	教 授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	5	太田	樹	准教授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	6	古井	滋	教 授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	7	古井	滋	教 授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	8	古井	滋	教 授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	9	古井	滋	教 授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	10	太田	樹	准教授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	11	岡本	孝英	教 授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	12	岡本	孝英	教 授	ケーススタディーにより各症例の特徴を説明できる。			
	13	太田	樹	准教授	提示された課題に関しての内容を整理し、読影学に対応しえるポジショニング、撮影条件、画像処理に関してのプレゼンテーションを作成する。			
	14	岡本	孝英	教 授	提示された課題に関しての内容を整理し、読影学に対応しえるポジショニング、撮影条件、画像処理に関してのプレゼンテーションを作成する。			
15	古井	滋	教 授	整理したプレゼンテーションの発表および討論を行う。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。						
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する成書や文献などを利用し、次回授業までに解決しておくこと。						
	【必要時間】	該当期間に30時間以上の予復習が必要。						
教科書	適宜、指示する。							
参考書	適宜、指示する。							
評価方法	発表20%、レポートおよび授業内課題80%							
その他履修上の注意事項	授業場所: 帝京大学医学部附属病院 試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP1が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。							